

学校関係者評価会開催

3月9日、令和3年度の学校関係者評価会を開催しました。出席者は保護者代表12名、本校外部講師、岡山赤十字病院実習指導委員長、教職員で、一部リモート参加していただきました。毎年、日本赤十字社の学校評価ガイドラインに基づき、教職員と運営委員で学校運営や教育に関して学校自己評価を実施しています。教員から自己評価の結果・分析・課題や、教育の現状、保護者アンケート結果などを説明し、意見交換が行われました。



保護者の方から、以下のようなご意見、ご感想、ご質問をいただき、回答させていただいております。

- ・実習が2年の後期から多くなると聞いていますが、遠方の実家より通学できるのでしょうか。一人暮らしをした方がよいのでしょうか。
⇒講義は8:50開始ですが、実習は8:30から開始のため準備して臨むので、時間的にかなり早くなり、課題も増えます。個人差があり、3年間遠くから通った学生もいます。途中から入寮や学校周辺に住む場合もあります。
一人暮らしになると家事と学業の両立もすぐには難しいので、2年生の7月に基礎看護学実習Ⅱの体験を踏まえ検討してはいかがでしょうか。
- ・実習中、毎日1時、2時まで勉強していて、一睡もせず実習に行く日があります。関連図やアセスメントが大変ですが、教師からの指導でできるようになったり、実際の患者との関わり、臨床の看護師の話を聴くこと、実習グループ学生の考えを聞くことで学びになり成長しています。昨年実習記録の量を検討するということでしたがその後どうなっているのでしょうか。
⇒看護計画と看護実践記録を集約し、3年生よりは記録の負担を減らしています。今後も学生の状況をみながら各領域担当で検討していきたいと思います。
- ・遠方からの通学、コロナ禍ですが、リモート授業を取り入れて学んでおり安心しています。
⇒リモートでやや不具合もありましたが、ネット環境の調査・設備を整える等行ないました。コロナ禍で看護技術の練習が制限されていますが、実習に向け技術力が向上するよう工夫していきたいと思います。

- ・コロナ禍、病棟実習を受けられないまま国家試験を受けるかと心配していましたが、病棟でしっかり実習させてもらうことができ感謝しています。
⇒ご家族からお子さんの成長している様子や看護師になりたいという意気込みを聞き頼もしく思います。学生の実習環境、就職後からの継続学習の環境をしっかりと整えていきたいと思います。色々な体験を通して看護師も学生に関わり成長していることを実感しているので、ともに学べる場面を作っていきたいと思います。（病院実習担当者より）
- ・卒業式を見なかったことが心残りです。
- ・学友に恵まれ学生生活を楽しみ、献血活動のボランティアや病院の受付のアルバイト等を通して、多くの事を学んでいると思います。
- ・実習でパンフレットを作り、看護師から指導を受け、やり直して持って行きました。いい患者さんに恵まれ楽しく、やりがいを持ち実習をしているようです。
- ・家族の体のことを心配し、アドバイスもくれるようになりました。

貴重なご意見ありがとうございました。今後も保護者と協力しながら教育の充実を図っていききたいと思います。

